

全日本インカレ出場チーム各位

全日本大学バレーボール連盟

全日本インカレのベンチ入りスタッフの資格について

1、日本バレーボール協会コーチ制度について

2008年度から、全日本バレーボール大学男子・女子選手権大会（全日本インカレ：日本バレーボール協会主催）に参加するチームのベンチ入りスタッフ（監督・コーチ・トレーナー・マネージャー）に最低1名は①「日本スポーツ協会公認資格を有する者」がいることが義務付けられました。ただし、大学の場合は、日本スポーツ協会公認の有資格者が不在のチームもあり、それらを含めた多くのチームが全日本インカレに参加することから、日本バレーボール協会から大学だけに与えられた特別措置によって、ベンチ入りスタッフを認められることが確認されています。

2、大学における特別措置について

大学における特別措置とは、もしチームに①の有資格者がいない場合でも②「全国大学バレーボール部員対象財団法人日本体育協会公認バレーボール指導員（専門科目）養成講習会で準指導員の資格を得た者」がチームに1名以上いれば、ベンチ入りスタッフに制約はかからないというものです。いずれにしても①か②の資格を持つスタッフがいなければ、ベンチ入りスタッフに制約がかかることになります。

3、資格取得の方法とベンチ入りスタッフの制約について

①の取得方法については、各都道府県バレーボール協会の指導普及委員会にお問い合わせください。なお、チームの監督・コーチ・トレーナー・マネージャーが本年度に日本スポーツ協会の資格を取得中の場合は、その時点で資格が未取得でも取得中の証明があればベンチ入りすることができます。

②の講習会は昨年度2年ぶりに、オンラインで開催され、今年度も12月に開催予定です。この資格は、別に日本スポーツ協会の共通教科を取得すれば、合わせて日本スポーツ協会の公認資格を得られます。大学生がバレーボールの勉強をして、指導者の資格を取得していくことは、将来の日本バレー界にとっても極めて重要であると考えています。もし、現時点で①、②の有資格者がいないチームで本年度の全日本インカレに出場する大学がありましたら、その旨を全日本学連に連絡してください。「部長と選手のみベンチ入り可」という形での出場となります。日本バレーボール協会指導普及委員会としては、将来的には日本バレーボール協会主催の全国大会に監督としてベンチ入りするからには、日本体育協会の資格を有することが最低条件という方向です。繰り返しになりますが、大学は特別措置を認められています。その点をよく理解していただき、全日本インカレ出場の全チームが通常のベンチスタッフでの大会参加ができますよう期待しています。

4、同一大学男女スタッフの兼任について

2022年1月に行われた競技登録委員会にて、同一大会での部長を除く男女間の兼任スタッフを認めないとの決議を行いました。理由として、JVA主催大会では同一チームの男女兼任スタッフが認められていないということが挙げられます。JVA主催で行われる全日本インカレにつきましても同様の対応を今年度より行います。

以上